

平成28年度 施政方針

新笠間市の誕生から10年が過ぎ、インフラ整備、産業振興、人材育成、保健・福祉・医療の充実等の取組みが進んだ一方、本市の人口は合併後約4,000人減少し、今後高齢化、人口減少が急速に進む見通しとなっています。

しかし、これまで先人が築き上げてきた文化や歴史、志をしっかりと未来につないで、5年後、10年後を見据えた更なるステージを創造していくため、本市のあらゆる力を結集し、躍進する自治体を築いていきます。

平成28年度は、人口減少・少子高齢化に伴う諸問題の解決を目指す「笠間市創生総合戦略」が本格的に動き出し、官民連携のもと人口減少の抑制と地域経済の活性化を図りつつ、人口構造の変化に対応したまちづくりの実現に向けて力強く前進させていきます。

これに伴う予算編成方針の基本的な考え方は、「優先度が高い事業に重点を置いた予算配分」、「新たな財源の確保」、「スクラップ・アンド・ビルドの徹底」により、可能な限り経費の見直しを図りながら、「笠間市創生総合戦略」が掲げる重点的な課題への新たな取組みを積極的に進めることとしました。

重点的な課題への取組み

「住む」質の向上につながるひと・まち・もの(産業)づくり ～「交流と連携」の重点化～

1 交流と連携による 人が活躍する環境の構築

教育を含めた少子化対策を始め、生涯を通して活躍するためのライフステージ、ライフスタイルに応じた支援や、郷土に誇りを持つことができるよう笠間を知り、発信する取組みの強化と笠間の暮らしを実感できる取組みの推進に向けた事業を行います。

2 交流する場と連携する 仕組みの確立

既存ストックの活用を図った、市内外の双方において、交流や活動を活性化する拠点の形成や、人口減少、高齢化社会に対応したコミュニティづくりといった場の構築に向けた事業を行います。

3 交流と連携の促進による 産業の活性化

国内外の双方を意識した情報発信力の強化・販路拡大や、地域資源や環境を生かした産業の支援や地域づくりにもつながる小規模事業所、店舗等の活動を支援する事業を行います。

この3つの重点的な課題への取組みのために、重要事務事業として91事業を定め、平成28年度が最終年度となる笠間市総合計画後期基本計画を進めていきます。

平成28年度

重要事務事業

土地利用・都市基盤

重点課題▽まち

生涯活躍のまち(笠間版CCRC)構
想推進事業 拡充 16,440千円

将来に向けて期待と安心を与える「笠間暮らし」を提供するコミュニティ(笠間版CCRC)の形成に向けた取組みを産学官地域連携により提案していきます。

重点課題▽まち

笠間稲荷周辺まちづくり整備事業

拡充 216,639千円
観光拠点である笠間稲荷門前通りの賑わいを創出するため、旧井筒屋本館の再生整備および周辺整備を行います。今年度は、旧井筒屋本館の耐震補強・改修工事、道路景観整備等を行います。

県道水戸岩間線歩行者空間整備事業

拡充 73,001千円
岩間駅西側の主要道路である「県道水戸岩間線」を整備し、歩行者の安全確保および景観形成を図ります。

岩間地区まちづくり検討事業

6,089千円
岩間市街地北部の住居系市街地を

対象に、将来の土地利用を含め、幹線道路や補助幹線道路、集散道路などの配置や整備の方向性を検討します。

幹線道路整備事業

【拡充】403,118千円

市内幹線道路（来栖本戸線・南友部平町線・笠間小原線・市道（友）2級5号線「随分附」）の交通利便性を高めるため、早期完成を目指し整備を推進します。

都市計画道路再検討事業

1千円

都市計画決定後、未着手となっている都市計画道路について、計画の継続、変更、廃止の方向性を判断し、それに基づいた都市計画の変更等の手続きを行います。

重点課題

▼まち
デマンドタクシーかさま

【拡充】64,956千円



デマンドタクシーかさま

乗り合いタクシーを運行することで、公共交通空白地域の解消や、交通弱者の方々の日常生活の移動を支援します。今年度から、土曜日の運行を実施します。

産 業

重点課題

▼もの
筑波山地域ジオパーク推進事業

【拡充】7,423千円

筑波山周辺地域の6市等で連携し、地質・自然環境・歴史文化といった地域資源を活かした「ジオパーク」の取組みを推進し、日本ジオパークへの認定を目指します。



吾国・愛宕ジオハイキング

重点課題

▼ひと
地域おこし協力隊事業

【拡充】16,091千円

定住化対策の一環として、「地域お

こし協力隊」制度を活用し、都市圏から本市への移住希望者を受け入れ、協力隊員による地域活性化事業を実施します。

重点課題

▼もの
外国人旅行者受入事業

【拡充】3,097千円

外国人旅行者が快適に滞在・観光できるように、受入体制を整えます。今年度は、ギャラリロード商店街をモデル地区として、多言語案内板を設置します。

重点課題

▼もの
菊まつり事業・つつじまつり事業

15,670千円

観光客の誘客を図るため、100年以上前から続く「笠間の菊まつり」や、つつじ一株運動により始まった「笠間のつつじまつり」を実施します。

重点課題

▼もの
地場産業支援事業（笠間焼振興）

4,356千円

笠間焼の普及拡大を図るため、笠間の陶炎祭等でのPR活動、事業者を対象とした新商品開発、展示等の商談活動を支援します。

重点課題

▼もの
笠間陶芸大学校学生等後継者育成支援事業

【新規】14,314千円

平成28年4月に開校する県立笠間陶芸大学の学生への家賃補助などの支援や、プロの陶芸家を目指す方

の設備購入・研修支援により、笠間焼の担い手育成を図ります。

重点課題

▼もの
地場農産物振興拡大事業

8,534千円

地場農産物の学校給食への提供や料理教室を開催するなど、地産地消の推進を図るとともに、農産物の加工や新たな商品開発など6次産業化やアグリビジネスに取組む農業経営の安定化を図ります。

重点課題

▼もの
担い手対策強化促進事業（認定農業者、青年就農者支援）

【拡充】8,983千円

農業後継者が技術習得するための研修経費の一部や、農業機械・生産施設更新整備費の一部を助成します。

重点課題

▼まち
農地集積協力事業

【拡充】7,320千円

農地集積・集約化を図るため、農地中間管理機構に農地を貸し付けた地域や農家に対して、協力を交付します。

多面的機能支払交付金事業

81,320千円

地域資源の適切な保全管理を推進し、担い手農家への農地集積と構造改革を後押ししていくことを目的に多面的機能の維持・発揮を図るため地域の共同活動を支援します。

森林機能緊急回復整備事業

30,300千円

間伐が必要とされる森林の整備を行うため、間伐の実施、作業道、林道の開設などを行い、森林の持つ公益的機能の回復と環境改善を図ります。

**重点課題▶▶▶まち
遊休農地活用緊急対策事業**

4,892千円

遊休農地を解消し、国土の有効利用と荒廃農地から優良農地へと再生を図る取組みを支援します。

**重点課題▶▶▶もの
商店街活性化事業**

3,689千円

商業を中心とした市街地の活性化を図るため、商店街と連携した各種事業を実施している商工会への補助や、市内の美術館を巡る「アートのまちめぐり」などを実施します。

**重点課題▶▶▶もの
企業誘致推進事業**

1,722千円

企業立地の意向調査や立地促進PRを実施するとともに、「企業立地促進事業補助金」等の優遇制度を活用し、新たな企業誘致および既存企業を支援します。

**重点課題▶▶▶もの
雇用対策事業**

拡充 1,279千円

大学や市内企業との連携により、就職説明会や市内企業紹介ツアーを

開催し、首都圏学生の笠間市内企業への就職支援、市内企業の雇用支援を図ります。



茨城県笠間市内事業所合同説明会

健康・福祉

**重点課題▶▶▶ひと
地域子育て支援センター事業**

拡充 7,309千円

子育て家庭の親子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で交流が図れるよう「地域子育て支援センター」を運営します。

児童クラブ整備事業

拡充 242,674千円

留守家庭の児童を放課後に預かり、遊びや集団生活の場を提供する施設として児童クラブを整備します。今年度は笠間小学校および北川根小学校児童クラブの建設と友部第二小学

校児童クラブの実施設設計を行います。

**重点課題▶▶▶ひと
母子父子支援事業**

2,078千円

ひとり親家庭の生活の安定と自立を図るため、子育て・生活支援・就業支援に向けて総合的な相談に応じます。

**重点課題▶▶▶まち
認定こども園建設事業(稲田地区)**

新規 669,124千円

平成29年4月の開園に向け、稲田幼稚園といなだ保育所を一体化した「稲田地区幼保連携型認定こども園」の建設工事を実施します。

**重点課題▶▶▶ひと
かさまこども園運営事業**

新規 78,870千円

平成28年4月より、笠間幼稚園とてらざき保育所を一体化した「かさまこども園」を運営します。



かさまこども園

**重点課題▶▶▶ひと
産前・産後ケア事業**

拡充 4,856千円

妊娠から子育て期のさまざまなニーズに対応するため、子育て世代包括支援センター「みらい」を運営します。今年度より助産師を配置し、産前・産後のケアを充実させます。

**重点課題▶▶▶ひと
母子保健事業(母子手帳・母子健診・相談・家庭訪問・親子教室)**

58,996千円

母子の健康保持および増進のため、妊婦および乳幼児の健康診査等を行います。

**重点課題▶▶▶ひと
医療福祉費支給事業(小児分)・医療福祉費自己負担金助成事業(外来・入院時)**

195,243千円

医療費の負担を一層軽減するため、市の独自制度により中学3年生まで対象年齢を拡大し、小学校6年生までを対象に医療機関等へ支払った自己負担金および入院時の食事療養費を助成します。

**重点課題▶▶▶ひと
特定不妊治療費補助事業**

5,750千円

少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦に治療費を助成します。今年度も引き続き、男性の不妊治療に対して上乗せの補助を実施します。

重点課題▶▶▶ひと

出会い創出支援事業(地域少子化対策)

1,896千円

隣接する城里町や栃木県益子町、茂木町との広域連携により、男女の出会いを創出するため、婚活セミナーや出会いイベントの開催、婚活サポーターの養成・研修講座などを実施します。

重点課題▶▶▶ひと

食育の推進と生活習慣病予防事業

1,563千円

健全な食生活を実践することができる市民を増やすため、笠間市ヘルスリーダーの会と協働しながら、親子料理教室や子ども料理教室、健康教育などを実施します。



こども料理教室

重点課題▶▶▶ひと

健康都市の普及・啓発事業

219千円

「健康都市かさま」宣言の意義や、市民の健康に対する意識を高めるため、健康都市講座(講演会)の開催や生活習慣病の予防、食生活の改善策などの啓発活動を行います。

重点課題▶▶▶ひと

健康増進事業

1,442千円

疾病の早期発見および早期治療に寄与するため、健康相談や健康体操、各種教室(糖尿病予防教室、スリムアップ教室、女子力アップ教室等)を実施します。

重点課題▶▶▶ひと

各種検診推進事業

67,984千円

生活習慣病の予防と疾病の早期発見のため、がん検診等の健康診査を実施するとともに、受診率の向上を図ります。

重点課題▶▶▶ひと

がん検診推進事業

6,248千円

がん予防および早期発見のため、特定年齢の対象者に無料クーポン券を配布し、受診率の向上を図ります。

重点課題▶▶▶まち

地域医療センターかさま整備事業

新規 734,000千円

医療・保健・介護・福祉の連携の実現に向けて、現施設を友部駅北側の市有地へ移転新築します。平成30年度4月のオープンを目指し、建設工事に着手します。

重点課題▶▶▶ひと

筑波大学病院連携事業

拡充 27,500千円

筑波大学病院より指導医・後期研修医および医学生を受け入れることで、地域医療を担う医師を育成するとともに、安定的な医師の確保を図ることで地域医療の充実を推進します。



地域医療センターかさま(完成予想図)

重点課題▶▶▶ひと

平日夜間・日曜初期救急診療事業

17,726千円

市立病院、医師会、薬剤師会、県立中央病院が連携し、市立病院において初期救急診療を実施します。

重点課題▶▶▶ひと

医療福祉費支給事業・医療福祉費自己負担金助成事業(外来・入院時)

328,641千円

医療費の負担を一層軽減するため、市の独自制度により、医療福祉費受給者が医療機関等に支払った外来・入院自己負担金および入院時の食事療養費を助成します。

重点課題▶▶▶ひと

重点課題▶▶▶ひと

国民健康保険加入者を対象に生活習慣病を予防するためのメタボリックシンドロームに着目した特定健診・人間ドック・脳ドックを実施するとともに、受診率の向上に努めます。

重点課題▶▶▶ひと

国民健康保険健診事業

77,743千円

国民健康保険加入者を対象に生活習慣病を予防するためのメタボリックシンドロームに着目した特定健診・人間ドック・脳ドックを実施するとともに、受診率の向上に努めます。

重点課題▶▶▶ひと

後期高齢者健診事業

16,378千円

後期高齢者医療の被保険者に対し、健康保持と疾病の早期発見・早期治療のため、健康診査の無料受診券を送付し、受診率の向上を図ります。

重点課題▶▶▶ひと

生活困窮者自立支援事業

19,248千円

生活困窮者の自立を支援するため、相談支援員や就労支援員等による情報提供、助言を行います。また、離職等により住宅を失った生活困窮者に対し、家賃相当の給付金を支給します。

重点課題▶▶▶ひと

生活保護適正化事業

4,236千円

生活保護の適正な実施を目的として、レセプトの点検、医療要否意見

書の審査、扶養義務者および関係機関の調査等を実施します。

高齢者見守りあんしんシステム事業

8,709千円

自宅での急病やけがによる緊急通報のほか、相談や安否確認コールのサービスにより高齢者をサポートできるよう、通報装置を貸与します。

重点課題

在宅医療・介護連携推進事業

2,056千円

医療と介護の連携を強化し、多職種が連携して地域の高齢者を支える仕組みとして、地域包括ケアネットワークや介護検診ネットワークシステムを運用します。

重点課題

認知症地域支援推進事業

569千円

認知症ケア体制の強化を図るため、医療機関や介護サービス、地域の支援機関をつなぐコーディネーターの役割を担う、認知症地域支援推進員を配置します。

重点課題

障害者地域生活支援事業

61,976千円

地域の実情に応じて重度身体障害者訪問入浴サービス事業やコミュニケーション支援事業など各種事業の実施により、障がい者の地域での生活の安定を図ります。

生活環境

友部駅周辺道路整備事業

96,817千円

市道(友)1175号線・1195号線(南友部)の拡幅や市道(友)1級6号線(美原)の浸水対策工事を行います。

狭あい道路整備促進事業

52,073千円

狭あい道路の拡幅整備を行います。今年度は市道(友)3206号線の用地測量等、市道(岩)西277号線の道路改良舗装工事を実施します。

橋梁長寿命化修繕事業

63,960千円

義務づけられている、橋梁の定期点検を実施するとともに、平成25年に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」の見直しを行います。

道路維持事業

153,520千円

地区要望に対応した道路路の維持並びに整備工事をするともに、パトロールにより発見した不良箇所の修繕工事を実施します。

公園施設長寿命化事業

30,000千円

平成25年度に策定した、公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園施設の維持管理の軽減と、平準化を図

るため施設整備を実施します。

水道施設等整備事業

164,175千円

安心安全な水道水を供給するため老朽管を耐震性に優れた水道管に替え、取水井戸の更新を図るとともに漏水箇所の早期発見に努めます。また、石綿管や鉛製給水管の解消にも努めます。

下水道施設長寿命化計画推進事業

438,900千円

下水道長寿命化計画に基づき、共用開始後22年経過した「下市毛ポンプ場」の機械設備改修工事に着手します。

地方公営企業法適用準備事業

20,420千円

下水道事業の公営企業化に向けて、今年度は固定資産調査・評価を実施します。

公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽整備事業

837,490千円

公共下水道施設と農業集落排水施設の整備を進めます。また環境保全へ向けて公共下水道や農業集落排水への接続を推進し、事業区外においては単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への入れ替えを促進します。

市営住宅長寿命化事業

30,599千円

市で管理する市営住宅について、

安全で快適な住まいを長きにわたって確保するため、長寿命化による計画的な維持管理・更新とコスト縮減を図ります。

重点課題

定住化促進事業

5,366千円

少子高齢化による人口減少の解消を目指し、本市への定住化を促進するため、首都圏を中心に笠間市のPRを行うとともに、移住体験を実施します。



移住・交流&地域おこしフェア

重点課題

空家対策推進事業

19,636千円

空き家の活用および住環境の保全を図るため、空家等対策計画の策定や空き家情報のデータベース化を行います。

重点課題▶▶ひと

民間救急ボランティア育成・啓発事業

162千円

救命率の向上を目的として、応急手当普及員の育成・指導を行うとともに、資格取得者に民間救急ボランティア(KHS)に登録を依頼し、救命講習会等で活動を推進します。

いばらき消防救急無線・指令センター運営事業

新規 23,731千円

平成28年6月より「いばらき消防指令センター」が稼働し、広域かつ迅速な対応や大規模災害に強い体制の構築のため、県内34市町共同で運用を行います。

まちなか犯罪抑止事業

拡充 3,829千円

市民の安心と安全を確保するため、防犯カメラを市街地10か所に、20基設置します。

一般廃棄物処理基本計画策定事業

新規 6,862千円

ごみやし尿の処理体制など、市の一般廃棄物処理の基本方針を定める「笠間市一般廃棄物処理基本計画」の改訂作業を実施します。

教育・文化

重点課題▶▶ひと

英語教育強化推進事業

43,149千円

英語教育の推進のため、英語指導

助手の全小中学校配置や、夏季英語研修、英語検定受験料の一部助成を実施し、小中学生の英語教育環境の充実を図ります。



AET(英語指導助手)による授業

重点課題▶▶ひと

学力向上支援事業

47,926千円

チームティーチングによる、児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導を行い、学力向上を支援するため、全小中学校に授業支援講師を配置します。

重点課題▶▶ひと

寺子屋事業

6,568千円

学力向上と学習意欲の高揚を図るため、土曜日に、市内の小学5・6年生を対象とした、学びの機会を提供します。また、夏休みは特別講座を実施します。

重点課題▶▶ひと

スクールソーシャルワーカー配置事業

新規 6,192千円

学校現場における児童生徒のいじ

め、不登校、暴力行為といった問題行動等、多様な課題に対応するため、全小中学校にスクールソーシャルワーカーを派遣します。

学校生活学習支援事業(生活困窮者世帯等)

新規 1,400千円

家庭の経済状況等により学習が遅れがちな中学生に対し、学びの場を提供し学習を支援します。

小中学校施設環境改善事業

拡充 470,450千円

学校施設の環境改善を図るため、今年度は岩間第一小学校の校舎外壁やトイレなどの改修工事と笠間中学校の武道場を新たに建設します。

小学校校舎エアコン設置事業

新規 16,568千円

学校環境の向上を図るため、市内全小中学校にエアコンを設置します。今年度は平成29年度設置に向け、実施設計を行います。

笠間公民館リニューアル事業

拡充 312,847千円

昭和57年の建築後、約34年が経過する笠間公民館施設の改修工事を実施します。

スポーツ振興事業

1,272千円

平成20年に策定した、体育・スポーツの総合的な方向性を示す「笠間市スポーツ振興計画」を、オリンピックや茨城国体を見据えた計画に見直します。

茨城国体推進事業

拡充 1,775千円

平成31年開催の茨城国体に向け、準備委員会を組織・運営し、笠間市で行う軟式野球、ゴルフ、クレイ射撃、合気道の成功に向けた準備を行政と市民が一体となつて行います。

かさま陶芸の里ハーフマラソン大会事業

7,820千円

ハーフマラソン大会(日本陸上競技連盟公認コース)の実施により、「健康都市かさま」のPRとともに、参加者の健康増進、体力の強化を図ります。

県下中学校交歓笠間市駅伝大会事業

1,568千円

1964年東京オリンピックの開催を記念して始まった中学生対象の駅伝大会の実施により、中学生の心身ともに健全な育成、競技力向上を図ります。

重点課題▶▶まち

笠間城跡保存整備調査事業

拡充 20,249千円

笠間城跡周辺の遺構分布の確認をするための地形測量調査や笠間城・笠間藩に関わる古文書調査等を実施します。また昨年度に引き続き歴史フォーラムを開催します。

全国こども陶芸展推進事業

6,370千円

21世紀を担う子どもたちに、本市

の重要な産業である陶芸を通して、
 創意工夫・自由な創造力を発揮できる
 場を提供することを目的として、
 全国こども陶芸展を開催します。

自治・協働

重点課題 ▶▶▶ **ひと**
女性の活躍応援事業

拡充 447千円
 女性の社会進出を促進するため、
 有資格者に対する「復職支援研修会」
 の実施や、働きやすい職場環境を構
 築するため「ワークライフバランス
 講演会」を実施します。



復職支援研修会(看護実習)の様子

重点課題 ▶▶▶ **まち**
**笠間市地域交流センターともべ建設・
 運営事業**

拡充 503,712千円
 平成28年12月の開館に向け、「地域
 交流センターともべ」の建設工事を
 実施し、指定管理者制度を活用して、
 運営を開始します。



笠間市地域交流センターともべ(完成予想図)

重点課題 ▶▶▶ **まち**

**笠間市地域交流センターいわま建設
 事業** **新規** 209,236千円
 平成29年9月の開館に向け、「地域
 交流センターいわま」の建設工事を
 実施します。

重点課題 ▶▶▶ **ひと**
地域コミュニティ創生モデル事業

2,400千円
 行政区や子ども会、高齢者クラブ
 等が単独または連携して実施する地
 域コミュニティ活動のモデル事業に
 対し助成します。

重点課題 ▶▶▶ **ひと**
広報推進事業

拡充 16,829千円
 笠間市の魅力を市内外に広く伝え

るため、広報紙発行や市内の観光、地
 場産業などを紹介する動画を作成・配
 信します。今年度は、外国人向け動画
 も作成し、新たな集客を図ります。

重点課題 ▶▶▶ **まち**
笠間・首都圏連携事業

新規 16,616千円
 U・J・ターソンと地場産業の成長を
 促進していくため、首都圏在住者との
 つながりを強化する取組みと、受
 け皿となる本市での雇用の質向上や
 活動の場づくりを一体的に進めます。



首都圏の大学に通う笠間市出身の学生との
 タウンミーティング

第二次総合計画策定事業

15,351千円
 本市の目指すべき将来像とそれを
 実現するための政策および施策の方
 向を示すため、第二次総合計画を策
 定します。

第三次行財政改革大綱策定事業

188千円
 効率的で効果的な行政運営の確立
 に向けて、第三次行財政改革大綱を
 策定します。

各種証明書コンビニ交付事業

新規 7,808千円
 市民の利便性向上を図るため、マ
 インバーカードを活用した、全国
 のコンビニエンスストアにおける、
 住民票の写し等各種証明書の交付
 サービスを開始します。

収納対策事務

23,264千円
 自主財源や税負担の公平を確保す
 るため、納付催告、財産調査、差押
 えや公売などの滞納処分を行い、市
 税等の徴収率の向上を図ります。

重点課題 ▶▶▶ **ひと**

**ふるさとづくり寄附金制度推進事業
 (ふるさと納税)** **19,090千円**
 まちづくりへの共感やふるさとへの
 思いを抱く人々のまちづくりの参
 加手法として寄附を募り、連携と協
 働によるまちづくりを推進します。

重点課題 ▶▶▶ **まち**

県央地域定住自立圏構想推進事業

新規 1千円
 水戸市を中心とした圏域の市町村
 が、互いに役割を分担しながら、定住
 に必要な医療や福祉、交通などの生活
 機能の確保・充実を図り、連携・協力
 して圏域の活性化に取り組みます。